

障害者控除

高齢者の障害者控除の適用基準と徹底周知

三宅 盾子  
(お方を住みよくする会)

●「要介護認定Ⅱ障害者控除」の実態

問 介護認定を受けている人に対し、限りなく障害者に近く障害者控除に該当するとして、障害者控除の認定書を送付している自治体がある。本市でも取り組めないか。

答 本市の過去5年間をみても、申請の要介護認定者全員が障害者控除の認定者となっている。

問 要介護度のみで、一律に障害等級と比較することは困難である。

●市報の見出し、わかりやわく

問 毎年市報12月号に障害者控除について掲載されているが対象者がわかひにくい。平成29年度54件と申請者も少ない実態がある。他市のように見出しに「高齢者の」、「65歳以上の」という言葉をつけるべきではないか。

答 他市の例を参考に改

善できるところは改善。

問 要介護認定等の通知に、障害者控除の申請書の同封ができないか。

答 研究し、よく考えて対応を図ってきたい。「保育料の徴収委託（私立9園）の廃止を」

●保育園への現金持参方式は、県内で行田市だけが現金持参の理由は。

問 私立保育園の保育料が現金持参の理由は。

答 □座振替より直接払いの徴収率が高い。平成20年度、学童保育料を□座振替にした際に、公立保育園は□座振替にした。

問 子どもの人権の観点からも重大な問題である。各家庭の所得階層は個人情報であり、保育従事者が知る必要がない。保育園への徴収委託は廃止を

答 指摘の部分も含め、市民の皆さんの利便性を図ってきたい。

○その他の主な質問

○公共施設の統廃合問題

事業全般

事業の計画やチェック、検証はどうなっているのか、無駄はないのか

斉藤 博美  
(日本共産党)

問 蓮華寺通り、北合通り、商工センター脇、行田郵便局前など総額約2億円かけ石畳風の道路改修を行っている。多額の税金をかけ、それらしく街をつくりあげるときではない。そもそも昔は石畳だった所なのか。

答 かつては通常の舗装道路であった。

問 もともと石畳でないところを理想論で改修すべきなのか。せせらぎ歩行空間整備においても6500万円かけ、せせらぎのイメージとはほど遠い深い側溝のようになっ

てしまったのはなぜか。

答 既存の浮き城の径の池を水源として、自然流下させるために水面の位置が低くなった。

問 せせらぎをつくるには地形的に無理があるのでは。また、深くて大きいため工事費もかかる。

水深約13センチでは枯葉

もたまり、頻繁に清掃しなければ水は流れない。維持管理費は年間どのくらいを想定しているのか。

答 正確な見積もりは実施していないが、これまでの維持管理費に増額する必要はある。

問 安全対策も必要では。景観を考え柵ではなく植栽を設置予定である。

●カフェレジシブ開発事業

問 旧忍町信用組合カフェレジシブ開発を165万円で城西大学に委託。22品目を開発したがカフェでは4品目しか採用していない。他のカフェメニューは誰が考えたのか。

答 運営団体が考えた。

問 自分達で考えられるならこの経費は無駄では。他の18品目については家庭でも作れる健康レシピとして活用する。

○その他の主な質問

○鴻巣行田北本環境資源組合

市民の声

新ごみ処理施設・旧忍町信用組合店舗について

江川 直一  
(公明党)

問 新ごみ処理施設は広域と単独でどちらがより市民負担が少ないか。

答 広域化で整備した方が約20億円の軽減となる。

問 収集回数や分別方法はどうなるのか。また、休日受入れはできないか。

答 ごみの減量化とリサイクルの推進を図るとともに、サービスの向上と費用対効果を考慮して検討を行う。なお、祝日と土曜日の受け入れについて組合に要望している。

問 余熱による発電後に利用できる熱は残るのか。

答 発電後は、外部に対し最大毎時5千メガジュールの供給が可能である。

問 余熱利用の温浴施設を建設した場合、余熱の熱量は十分なのか。

答 現在、施設検討委員会です余熱利用施設の規模を検討している。

●旧忍町信用組合店舗

問 国からの交付金と本市の負担額はいくらか。

答 まず、移築に関する総工費は約1億1550万円、そのうち約4340万円が国の交付金である。また、総工費の約51%を合併特例債で賄ったため、市の一般財源からの支出は約1315万円である。次に、移築以外の経費として国の交付金の対象であるレジブ開発事業が165万円、備品購入費と消耗品費が690万円である。施設の維持管理費を除く事業費総額は約1億2600万円、そのうち市の負担は約3900万円である。

問 移築の効果は。

答 文化財の保存、活用、まちなかにぎわい創出、子育て支援につながっていると認識している。

問 従業員の実態は。

答 カフェの従業員は、30人中27人が市民で子育て中の方である。